

7月5日(火)~7日(木)に図書館フェアを開催しました

今年度新しく入った本の展示を始め、色々な催し物を行いました。ここでフェアの様子を紹介します。

○ポップアップカード作り

図書館の本を使って、簡単な飛び出すカードを作ってみました。



○DVD上映「星新一特集」

1日目「プレミアム・エディション」
2日目「ファンタジー・エディション」
3日目「コミカル・エディション」

○期間中に本を借りた方の中から
抽選で20名に図書カードをプレゼント！
高校生10名、短大生10名が当選しました。

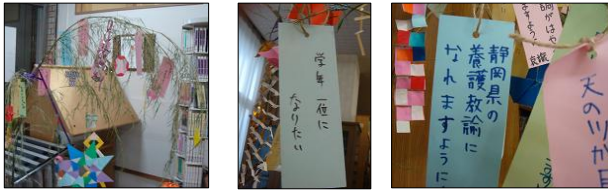
○学生図書委員のすすめ映画紹介

短大生の図書委員によって、おすすめの古い映画や、公開中の新作映画が紹介されました。



○七夕飾り

皆さんの願い事が多すぎて、笹が今にも折れそう・・・



○テーマ展示その1

作曲家のリスト生誕200年を記念して、ピアノ作品集のCDも流しました。リストは作曲家であるとともに、音楽史上最大のピアニストと言われ、その巧みな演奏技術は「ピアノの魔術師」と称されたそうです。



○テーマ展示その2

岡本太郎生誕100年を記念して、関連本を展示しました。芸術一家に生まれ、一般的なしつけを全く受けずに育った太郎は、少年期より既存概念にとらわれる事がなく、人間としての自由や権利を阻害する者、権威を振りかざし、かさにかかって押さえつけようとする者には、徹底的に反抗した。この反逆児ぶりは生涯貫かれ、それが創作への情熱にもなったようです。



○古本市

集った不要本の数、261冊
新たな持ち主に渡った数、76冊



ベストリーダー中間発表

2011.7.13現在の集計結果

学年	順位	組数	賞状	冊数
1年生	1位	2組	****	130冊
	2位	3組	****	124冊
	3位	3組	****	115冊
	4位	2組	****	79冊
	5位	3組	****	48冊
	5位	6組	****	48冊
	7位	1組	****	37冊
	8位	6組	****	36冊
	9位	1組	****	35冊
2年生	9位	4組	****	35冊
	9位	6組	****	35冊
	1位	9組	****	149冊
	2位	1組	****	83冊
	3位	7組	****	70冊
	4位	12組	****	58冊
	5位	1組	****	50冊
	6位	8組	****	48冊
	7位	7組	****	40冊
	8位	9組	****	32冊
9位	11組	****	31冊	
10位	8組	****	27冊	
3年生	1位	11組	****	33冊
	2位	1組	****	24冊
	3位	9組	****	23冊
	4位	5組	****	13冊
	5位	1組	****	11冊

あたらしい本

「ソクラテス・イエス・ブッダ」 フレデリック・ルノワール著



(131.2/ル)
賢人たちの時空を超えた
メッセージ。真の幸福、
人生の意味とは？

「教科書に出てくる歴史ビジュアル実物大図鑑」 山下裕二監修 (210.03/ヤ)



実物大の写真で日本の歴史を実感しよう。その時代その時代につくられた様々な「もの」の写真がのっています。



「かけ算には順序があるのか」高橋誠著 (411.1/タ)
「6人に4個ずつミカンを配ると、何個必要ですか」という問題に、 $6 \times 4 = 24$ という式を書くとバツにされる。かける順序は本来どちらでもよいはず。改めてかけ算の意味や考え方をみると、意外にも奥深いものが秘められています。

「ぶたにく」大西暢夫写真・文 (645.5/オ)



お肉はどこからやってくる？どうやって食卓へあがるのか？鹿児島市にある知的障害施設が舞台。そこでは障害をもつ方たちが、とても大切にぶたを育てている。ぶたの餌は小学校の残飯。私たち人間が残したものをぶたは食べ、10か月で出荷され、ぶた肉となる。その繰り返しで、我々は生きている。「いのち」「食」を学ぶドキュメンタリー写真絵本。



「長崎原爆記：被爆医師の証言」秋月辰一郎著 (916/ア)
この記録は、昭和二十年八月九日、長崎原爆投下以降の被爆地について医師である秋月辰一郎さん自身の被爆体験記です。爆心地から1.8kmほどの病院で医療活動を続けた中、その食生活によりスタッフ及び患者に後遺症が残らなかったと記されています。福島原発事故により、この書籍が静かに再注目されています。